

# 真田幸村のゆかりの地をめぐる

真田幸村（信繁）と言えば、徳川家康に果敢に挑んだ英雄として高名である。しかし、その一方で時代に翻弄され、長い蟄居時代を経験した悲劇の武将でもある。幸村の故郷・上田市から蟄居の地・九度山、猛将の名を轟かせ夢く散っていった大阪までの足跡をたどる。



▲善名称院  
九度山町九度山1413  
九度山駅から徒歩10分 町営無料駐車場あり

関ヶ原の戦いで敗れた幸村は、徳川方から父・昌幸とともに蟄居を命じられる。当初、真田家と関わりの深い高野山・蓮華定院へ入るが、女人禁制のため、九度山の里に屋敷を構え、妻子とともに暮らした。再起するまで、14年もの歳月をこの地で過ごすことになる。真田十勇士が集まったという伝説も。

## 長野・上田市 ゆかりの地 1 徳川軍を2度退けた不落城

ぼくのふるさとだよ



▲上田城跡公園  
長野県上田市二の丸 上田駅から徒歩12分  
入園無料。櫓や博物館は有料

真田幸村の故郷・長野県上田市にある上田城は、1583年（天正11年）に幸村の父・昌幸によって築かれた。徳川軍による2度の攻撃（上田合戦）を退けた名城だ。幸村の初陣は第一次上田合戦だったという説もある。現在は上田城跡公園として整備されている。大河ドラマ効果も



一番長い時を過ごした

## 和歌山・九度山町 ゆかりの地 2 再起を誓いながらの蟄居生活



幸村の過ごした屋敷跡地には、善名称院という寺院が建てられた。この寺院は、「真田庵」と呼ばれる地元の人々に親しまれている。また、真田庵は、真田まつりのメインイベント・武者行列の終着地点となっており、観光客で賑わう。



▲真田ミュージアム  
幸村の九度山での生活をパネル展示とドラマ仕立ての映像で紹介している  
九度山町九度山1452-4  
九度山駅から路線バス5分（運行期間あり）  
入場料大人500円、小・中学生250円



▲別所温泉「石湯」  
信州最古といわれる温泉で大河小説『真田太平記』に登場。なかでも「石湯」は「幸村の隠し湯」と呼ばれている  
長野県上田市別所温泉1641  
上田駅から上田電鉄別所線で約30分。別所温泉駅から徒歩8分  
入浴料150円、第2・第4火曜定休

あつて休日には観光客が押し寄せ。公園内の東虎口橋門には「真田石」と呼ばれる大きな石垣が鎮座。崖の上に立つ西櫓や総構えの巨大な堀などは当時の姿を残し、難攻不落の面影が随所に伺える。櫓から市内を一望し、上田合戦の攻防に思いを馳せるの



も良い。城内には市立博物館や大河ドラマ館も。真田家の歴史に触れることができる。

## 大阪・天王寺区 ゆかりの地 3 冬の陣、夏の陣で歴史の表舞台へ

最後の戦で活躍したよ



幸村を有名にしたのは、大坂の陣での活躍だった。冬の陣では、大坂城を包囲する形で陣を組み徳川方を、出陣・真田丸を築き果敢に応戦。徳川方に大きな損害を与え、退けた。そして、夏の陣では、3500人という少数の兵で天下の徳川軍に切り込み、本陣を越えて逃げ惑う徳川家を康をあと一步のところまで追い詰めた。家康は幸村の攻勢に切腹も覚悟したと伝えられている。

しかし、数で勝る徳川軍が徐々に反撃を展開し、幸村は安住神社に退却したところを討ち取られた。幸村を襲った兵に手柄にせよと首を差し出したという逸話が残っている。玉造駅周辺では、天王寺区役所がロードサイン「真田幸村めぐり」を設置。ゆかりの地を案内しており、真田丸のあったとされる同地域を盛り上げている。三光神社は、「大坂夏の陣図屏風」で描かれた幸村を元再現された銅像や、冬の陣で幸村が用いたという伝説が残る「真田の抜け穴」があり、ファンらの聖地となっている。最新の研究で、この三光神社付近に真田丸があったことが明らかになっており、大阪明星学園に面して、真田丸顕彰碑が立てられている。



▲真田幸村像  
「大坂夏の陣図屏風」に描かれた幸村をモデルに作製された

▼真田幸村めぐりルート  
NHK大河ドラマ「真田丸」の放送と併せて、ゆかりの地として町おこしを行っている



▲心眼寺にある出丸城跡の碑が建てられている



▲心眼寺  
幸村・大助父子の冥福を祈るために創建された。寺の定紋は真田家の六文銭となっている  
天王寺区餅差町2-22  
長堀鶴見緑地線玉造駅から徒歩8分



▲真田丸顕彰碑  
研究により真田丸の位置が明らかになってきた。大阪明星学園のテニスコート外側に2016年2月に顕彰碑が設置されている



▲三光神社の鳥居  
真田丸があったとされる、天王寺区玉造本町14-90  
各玉造駅から徒歩5分



▲真田の抜け穴  
抜け穴は徳川方が掘ったという説が有力とされている